

2018 年度 TOP BALL 杯多摩川親善野球大会「新人戦」大会約款

(調布市、狛江市、多摩市、三鷹市)

本大会は、2018 年度公式野球規則、2018 年度競技者必携少年野球に関する事項および次に定める特別規則を適用する。

1. 試合イニング

試合は 7 回戦とするが、試合開始後 1 時間 30 分を経過したらそのイニングを最終回として、均等回の得点で勝敗を決める。

2. コールドゲーム

4 回終了時以降 10 点以上の得点差、5 回終了時以降 7 点以上の得点差がついた場合は、コールドゲームとする。

3. 特別継続試合

試合開始より 1 時間 30 分以内で、4 回以前に中止になった場合(ノーゲーム)および 4 回を過ぎて同点で試合が中止になった場合(正式試合でタイゲーム)は、再試合とせず翌日または後日継続試合として行う。また 4 回表が終了した時点で後攻チームの得点が多い場合は成立試合となり、後攻チームの勝ちとする。

4. 特別延長ルール(タイブレイク方式)

7 回が完了もしくは試合開始から 1 時間 30 分が経過して同点の場合は、特別延長戦を行う。

前イニングの最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁、三塁の走者とし、無死満塁の状態で行う。特別延長戦は、最大 2 イニング行う。それでも勝敗が決定しないときは抽選で勝敗を決定する。

5. ベンチ入り

ベンチに入場出来る大人は、代表者 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、給水係 2 名の最大 7 名とする。また代表、スコアラー、給水係は、ユニフォームを着用せず(コーチと区別出来るものを着用)、チーム帽子を着用する。

※監督・コーチの背番号は 30, 29, 28 を基本とするが、それ以外の背番号のものがベンチに入る場合は事前に大会主催者に申し出るものとする

6. 用具など

試合中打者、走者、次打者、ベースコーチは、公認(JSBB)の両耳付のヘルメット、捕手は公認マスク(スロートガード付)、プロテクター、レガース、ヘルメットおよびファールカップを着用しなければならない。

7. 試合球

(財)全日本軟式野球連盟公認球の C 号球とする(大会本部で用意)

8. その他

- ① ベンチおよびスタンドでは笛や太鼓などの鳴物の使用を禁止し、相手チームへのヤジや挑発的な行為はしない。同類の行為を続けた場合は、チーム責任として監督を退場とする。
- ② ベンチは、抽選会で決定した組合せ番号の若いチームを一塁側とする。攻守は審判立ち合いのもと主将のジャンケンで決定する。
- ③ 試合前のシートノックは、実施しないものとする。
- ④ 各チームは試合開始の 60 分前までに集合し、30 分前までに各会場にメンバー表(3 枚)を提出する。
- ⑤ 投手の準備投球は、初回および救援投手は 6 球、次回以降は 3 球とする。
- ⑥ 投球規定を適用し、投球は 1 日 7 イニングまでとする。(特別延長戦の場合はさらに+2 回まで可)なおダブルヘッターの場合は、特別延長戦での回数を含むものとする。
- ⑦ 本大会に参加する選手は、スポーツ安全保険に加入済みであること。
- ⑧ 大会約款に定めのない事項で協議が必要な場合は、大会本部と参加連盟で協議し、これを解決する。
- ⑨ 試合終了時のグラウンド整備は勝利した当該チームが行う。

- ⑩ 試合前の練習場についてはありません。
- ⑪ 試合開始後 60 分経過後もしくは 5 回終了後、次の試合の先発のバッテリーのみ試合予定ベンチ側の外野にて投球練習可能とします。投球練習中は、バッテリーの安全を確保するためにコーチを 1 名付けるものとします。
- ⑫ 給水タイムについて
試合が攻守の交代がないまま延々と進行している場合や、天候の状況等により、審判員は選手の健康に配慮して、適時給水タイムを取ることができる。給水タイム中は時計（タイマー）を停めるものとする。
- ⑬ 審判へのお茶出しについては各審判で用意するので各チームからのお茶出しは不要です。

以上